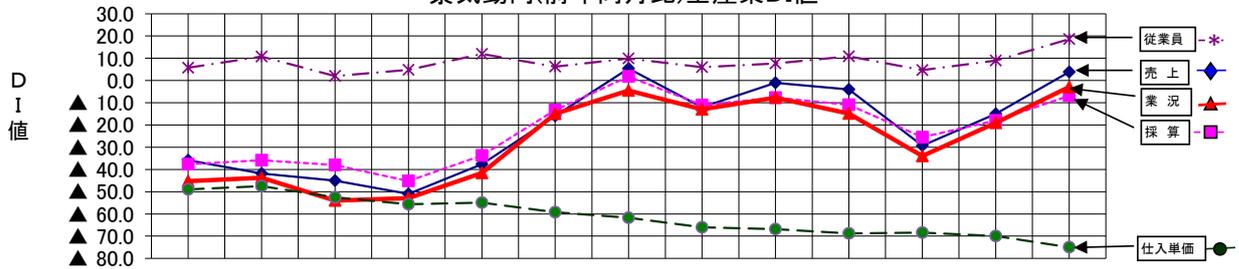


# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 11月分

## 【11月の概要】 売上・採算・業況DIともに大幅に改善し、売上はプラス水準に コロナ禍収束への期待が強いが、原材料等高騰の影響に懸念拡大

業況判断を示すDI値は、売上・採算・業況DIで2ヵ月連続して改善した。いずれも10ポイント以上の改善となり、特に売上については今年5月以降6ヵ月ぶりにプラス水準まで上昇。  
先行き見通しについても、売上・採算・業況DIで2ヵ月連続改善し、業況DIについては11ポイントと大幅な改善となっている。反面、仕入単価DIについては、業況・先行きともに2ヵ月連続の悪化となり、仕入価格上昇の影響が窺える。  
新型コロナウイルスの感染者数が急激に減少したことで、明るい見方や先行きへの期待感も多い反面、第6波の懸念が完全に払拭できない中で、当面様子見の状況が続くと予想される。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



### 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	2021年11月
売上	▲ 35.9	▲ 41.8	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 37.6	▲ 15.9	5.4	▲ 12.0	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 29.3	▲ 15.0	▲ 3.9
採算	▲ 37.7	▲ 35.9	▲ 38.0	▲ 45.2	▲ 33.7	▲ 13.3	1.8	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 10.9	▲ 25.5	▲ 18.0	▲ 6.9
業況	▲ 45.3	▲ 43.7	▲ 54.0	▲ 52.9	▲ 41.6	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 13.0	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 34.0	▲ 19.0	▲ 2.9
仕入単価	▲ 49.0	▲ 47.5	▲ 52.5	▲ 55.7	▲ 54.9	▲ 59.2	▲ 61.7	▲ 66.0	▲ 66.8	▲ 68.8	▲ 68.4	▲ 70.0	▲ 75.0
従業員	5.7	10.7	2.0	4.8	11.9	6.2	9.9	6.0	7.7	10.9	4.7	9.0	18.6

- ・マイナスからプラスに転じたDI値：売上18.9ポイント
- ・プラス幅が増加したDI値：従業員9.6ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：採算11.1ポイント、業況16.1ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：仕入単価▲5.0ポイント

### 【向こう3か月間の先行き見通し】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
9月	▲ 12.3	▲ 17.0	▲ 20.8	▲ 34.0	11.3
10月	1.0	▲ 17.0	▲ 11.0	▲ 46.0	15.0
11月	2.0	▲ 10.8	0.0	▲ 47.1	17.7

- ・見通しが改善したDI値：売上1.0ポイント、採算6.2ポイント、業況11.0ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：仕入単価▲1.1ポイント、従業員2.7ポイント（人手不足局面へ）

### 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	管工事業	コロナ沈静化で経済活動も上向き。関東方面での需要が多く、求人しているものの応募が少ない。
	ガス設備	ようやく明るい兆しが見える。市内のマンション建築や駅前開発など、期待できる要素もある。
製造業	鉄工	材料費の高騰がいつまで続くのかが懸念される。
	印刷	ようやく世の中が動き始めたように感じるが、最低賃金上げは経営者として頭が痛い。
卸売業	青果	緊急事態宣言も解除され、人の動きも活発になり、飲食需要の拡大が期待される。
	紙製品	仕入価格上昇の影響を価格に転嫁したくないが、しなければ利益が圧迫されてしまう。
小売業	百貨店	少しずつ売上も上向き傾向だが、第6波への懸念もあり購買行動も慎重に見える。
サービス業	タクシー	コロナ前までの回復は期待できない。加えて円安、原油高、雇調金が3月まで等、以前厳しい。
	警備	徐々に経済活動の動きが出てきているが、原油高騰等慎重に見極めコストを調整していく必要がある。
	飲食	長い営業縮小の期間があったため回復した場合に人手不足が予想される。